

## 文化遺産総合活用推進事業 実施報告

1 都道府県・市区町村名	群馬県	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 過去の補助事業実績			
平成23年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業	—		
平成24年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業	4,999千円		
平成25年度文化遺産を活かした地域活性化事業	5,278千円		
平成26年度文化遺産を活かした地域活性化事業	24,061千円		
平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業	23,256千円		
平成28年度文化遺産を活かした地域活性化事業	7,584千円		
6 計画の実施状況（概要） ※平成29年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。			
平成24年度 1. 地域の文化遺産情報発信、人材育成 （1）「ぐんま絹遺産」に関する総合的な普及啓発資料・映像作成 （シルクカントリーぐんま連絡協議会） ぐんま絹遺産ガイドブック製作（20,000部）、ぐんま絹遺産紹介映像制作（第2回登録分）、ぐんま絹遺産ホームページ新規ページ制作 2. 地域の文化遺産普及啓発 （2）「ぐんま絹遺産」普及啓発モデルイベント開催 （シルクカントリーぐんま連絡協議会） 講演・シンポジウム、スタディーバスツアー、俳句ラリー等（諏訪神社（藤岡市）、高山社跡、藤岡市周辺ぐんま絹遺産等）			
平成25年度 1. 地域の文化遺産情報発信、人材育成 （1）「ぐんま絹遺産」に関する総合的な普及啓発資料・映像作成 （シルクカントリーぐんま連絡協議会） ぐんま絹遺産ガイドブック製作（30,000部）、ぐんま絹遺産紹介映像制作（第3回登録分） 2. 地域の文化遺産普及啓発 （2）「ぐんま絹遺産」普及啓発モデルイベント開催 （シルクカントリーぐんま連絡協議会） 講演・シンポジウム、スタディーバスツアー、絵手紙教室等（群馬県庁（前橋市）、「富岡製糸場と絹産業遺産群」と周辺ぐんま絹遺産等）			
平成26年度 1. 地域の文化遺産情報発信、人材育成 （1）「ぐんま絹遺産」に関する総合的な普及啓発資料・映像作成 （群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会） ぐんま絹遺産ガイドブック製作（40,000部製作）、ぐんま絹遺産紹介映像制作（第4回登録分制作） 2. 地域の文化遺産普及啓発 （2）「ぐんま絹遺産」普及啓発モデルイベント開催 （シルクカントリー群馬プロジェクト実行委員会） 講演・シンポジウム、絹の国のお宝特別展等（富岡製糸場等） （3）世界遺産を舞台にした群馬伝統芸能祭開催 （世界遺産を活かした群馬文化遺産発信実行委員会） 県内の絹産業ゆかりの伝統芸能や代表的な伝統芸能等の上演（富岡市、伊勢崎市）			
平成27年度 1. 世界文化遺産情報発信、人材育成 （1）「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関する総合的な普及啓発資料作成 （シルクカントリーぐんま連絡協議会） 世界遺産ブックレット外国語版製作（中繁体10,000部・中簡体13,000部・仏10,000部・伊10,000部製作）、世界遺産ポスター外国語版製作（英700部・中繁体200部・中簡体200部・仏200部・伊200部製作） （2）「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関するガイド・解説員スキルアップ研修 （シルクカントリーぐんま連絡協議会） 県内ガイド・解説員団体等構成員への講習 2. 世界文化遺産普及啓発 （1）世界遺産物語 （シルクカントリーぐんま連絡協議会） 「世界遺産物語」見学先等公開・解説実施、モニターツアー「世界遺産物語」実施（4コース） （2）世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」展 （シルクカントリーぐんま連絡協議会）			

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」展開催（群馬県庁（前橋市）、イオンモール高崎（高崎市））  
 （3）アジア産業遺産シンポジウム  
 （シルクカントリーぐんま連絡協議会）  
 「富岡製糸場と絹産業遺産群」とアジアの産業遺産をテーマにした国際シンポジウム開催（富岡製糸場）  
 （4）絹の国サミット  
 （シルクカントリー群馬プロジェクト実行委員会）  
 作文・論文公募、表彰兼発表会、県外地域事例発表、パネルディスカッション、県外事例・県内関連地域PRブース設置等（富岡製糸場）  
 3. 世界文化遺産調査研究  
 （1）「富岡製糸場と絹産業遺産群」調査研究  
 （シルクカントリーぐんま連絡協議会）  
 「富岡製糸場と絹産業遺産群」の技術伝播に関する国内調査、絹産業・絹遺産等に関する記憶の資料化

平成28年度  
 2. 世界文化遺産普及啓発  
 （1）絹の国サミット  
 （シルクカントリーぐんま連絡協議会）  
 絹の詩公募、表彰兼発表会、講演、パネルディスカッション、高山社跡に関連する資料等の展示、関連地域PRブース（高山社跡（藤岡市））  
 （2）世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」価値PR活動  
 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値を紹介するパネル作成及び構成4資産の価値を総合的に紹介する「富岡製糸場と絹産業遺産群」展を開催（富岡製糸場 2回）

平成29年度  
 1. 世界文化遺産普及啓発  
 （シルクカントリーぐんま連絡協議会）  
 （1）シルク博  
 シンポジウム、講演会、絹の詩「おかいこさん」公募動画の表彰兼発表会、田島弥平旧宅上段の間公開、養蚕農家群散策ツアー、関連地域PRブース（田島弥平旧宅、境赤煉瓦倉庫（伊勢崎市））  
 （2）世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」企画展開催  
 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成4資産の価値を総合的に紹介し、その価値の基礎となる絹産業等を紹介する企画展を開催（富岡製糸場2回）  
 2. 人材育成  
 （シルクカントリーぐんま連絡協議会）  
 （1）ガイド・解説員レベルアップ研修  
 県内のガイド・解説員団体等を対象とした構成資産の総合的な講習及び技能向上のための講習

<p><b>7 定量的な目標に対する計画の進捗状況</b>  <small>※平成29年度までの進捗状況について、実施計画で設定した指標に基づき、状況値と目標に対する達成率を記載してください。（指標・目標値を複数設定している場合は、全て記載）。</small></p>	<p>別紙①②のとおり</p>
--	-----------------

**8 効果等の検証・分析結果**  
※上記7の進捗に対する検証・分析結果を記載し、併せて定性的な効果を具体的に記載してください。

1. 地域の文化遺産情報発信、人材育成  
 ・ぐんま絹遺産ガイドブックについては平成24～26年度に作成した計100,000部を県内外各地のイベント会場や施設等で配布した。映像については平成24～27年度に県内各地のイベント会場や施設等で上映したとともに、解説ガイド等の養成教材としても活用した。今後も引き続き有効に使用する。  
 ・積極的な情報発信により、「ぐんま絹遺産」の登録件数は平成23年度の58件から、30年3月現在で97件まで増加した。価値が高いが未登録である絹遺産の登録促進のため、今後も引き続き積極的な情報発信が必要である。  
 ・積極的な情報発信により、「ぐんま絹遺産」への来場者は増加しており、例えば富岡製糸場来場者数は平成23年度約23万1千人から29年度約63万7千人へと増加し、高山社跡では平成23年度約2千人から29年度約1万9千人へと増加した。  
 ・価値が高いが未登録である絹遺産の登録促進のため、今後も引き続き積極的な情報発信が必要と考えられる。

2. 地域の文化遺産普及啓発  
 ・平成24年度から26年度に、藤岡市周辺、群馬県庁周辺、富岡市周辺、伊勢崎市周辺において世界遺産登録やぐんま絹遺産等をテーマにしたモデルイベントや、ぐんま絹遺産を含む絹産業ゆかりの伝統芸能等の上演を実施した。  
 ・ぐんま絹遺産を活かしたモデルイベントや伝統芸能上演の成功により、地元新聞に合計で全2面～5面程度の特集記事が毎回掲載され、認知度が向上するとともに、同イベントにあわせて地元自治体や地域団体等による自主的なイベント等が実施された。開催後も「ぐんま絹遺産」を紹介する取り組みが行われるなど、活用が促進されている。  
 ・ぐんま絹遺産を活かしたモデルイベントや伝統芸能上演の実施に参画した地域団体が協働したことで相互の連携が強化され、例えば県域で世界遺産やぐんま絹遺産の普及啓発に取り組む「富岡製糸場世界遺産伝道師協会」では、年間の活動延べ日数が平成23年度に199回であったものが、平成29年度に234回へと増加し、活動の幅を広げている。

3. 世界文化遺産情報発信、人材育成  
 ・平成27年度に、外国語版のブックレットやポスターを製作し、イタリアのミラノ万博や中国、シンガポール等の海外のイベントへの活用や、在外公館、各地の国際交流協会等を通じた効果的な配布に取り組んだ。  
 ・世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関するガイド・解説員レベルアップ研修を実施し、ガイドスキルの向上や構成資産の最新情報等の講習を実施した。受講者は、講習内容を活かした構成資産のガイド解説を実施し、来場者の正しい理解、満足度の向上につながった。  
 ・平成30年度以降は世界遺産登録効果の低下が予測されるため、よりいっそう積極的な情報発信に加えて、効果的な情報発信、来場者の満足度向上を戦略的に模索していくことが必要である。

#### 4. 世界文化遺産普及啓発

・平成27、28年度に「絹の国サミット」と題して「富岡製糸場と絹産業遺産群」と関連の深い県外地域の事例発表とパネルディスカッション等を行い、世界の中での価値と、それを支える日本国内での価値の両面について理解を深める大きな契機とした。特に、28年度は、構成資産「高山社跡」にスポットを当て、高山社が各地の養蚕振興に果たした役割や、高山長五郎の精神などについて、理解を深めた。また、養蚕・製糸・織物の絹に係る「絹の詩」の作品を小学校・中学校・高校・大学・一般から公募し、その優秀作品の表彰式を「絹の国サミット」で行い、「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする絹文化が地域に根づいていることを認識する契機とした。

・平成28年度に「富岡製糸場と絹産業遺産群」価値PR活動として、価値を紹介するパネル作成、構成4資産の価値を総合的に紹介する企画展を開催した。

・「富岡製糸場と絹産業遺産群」展を富岡製糸場東置繭所で実施したことにより、全国各地から富岡製糸場に来場する方に対し、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産としての価値や富岡製糸場以外の3資産の紹介をすることができた。群馬県外からの来場者は、富岡製糸場以外の3資産を知らなかったり、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産としての価値を正しく理解していなかったりする方も多く、正しい情報発信を行うことができた。また、来場者が他の3資産を訪問する機会を与えることができた。

・価値PR資料のパネルを作成し、主に次のとおり活用した。

- ①来庁者が見込まれる群馬県地域機関5箇所での長期展示
- ②世界遺産構成4資産の地元市町へ貸出、構成資産等での長期展示等
- ③2月に構成資産の富岡製糸場で19日間企画展を開催し、パネルを展示した。
- ④子ども向けの学校キャラバンで使用
- ⑤集客施設等でのイベントに活用

・平成29年度は、「シルク博」の開催により、県民や関係者等が全国的な視点で世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値を考えることができるとともに、考え方を時間軸から空間軸へ広げていこうとする意識の向上を図ることができた。田島弥平旧宅に焦点をあて、蚕種生産の地・島村が残した功績などについて、理解を深めるとともに、先人の功績や建物を未来へどう継承していくかを探った。また、養蚕・製糸・織物の絹に係る「絹の詩」の作品を小学校・中学校・高校・大学・一般から公募し、その「大賞」となった曲「おかいこさん」を自由なアレンジで歌う動画を一般から公募し、その入賞作品の表彰式を「シルク博」で行い、「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする絹文化が地域に根づいていることを認識することができた。

・平成29年度は前年の企画展から実物展示や新たな切り口で4資産のつながりをしめる展示を行うとともに4資産が県内に与えた影響について紹介し、世界遺産の価値等の情報発信を行うことができた。

#### 5. 世界文化遺産調査研究

(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

・平成27年度に「富岡製糸場と絹産業遺産群」の調査研究を実施したことにより、富岡製糸場の操業時の様子や富岡製糸場に関わった人々の活動が明らかになったほか、田島弥平の本家である田島武平家に残る養蚕に関する資料を整理したことで、田島弥平旧宅を含む島村地区における養蚕製造の全体像を把握するための足がかりを作ることができた。

・絹産業は、年々産業の規模が縮小しているため、何もしなければ記録もなくなってしまふ。今後も調査研究により過去の状況などを明らかにする必要がある。

・普及啓発事業等で多くの次世代を担う子供達や県民に参加してもらい、アンケート結果からも、世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする地域の文化遺産に対する理解度・認知度について高めることができたといえる。

・文化財保護団体、地元市町村、民間企業など多くの関係機関や団体が参加し連携が強化されその後の自主的な事業等が実施され、また世界遺産や地域の文化遺産を紹介する取り組みが行われるなど活用が促進されている。

・情報発信や人材育成事業を通して、地域団体相互の連携が強化され、伝道師協会では年間活動日数が増加し、活動の幅を広げている。世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の魅力発信を推進し、理解度向上につながっている。

・平成30年度以降は世界遺産登録効果の低下が予測されるため、よりいっそう積極的な情報発信に加えて、効果的な情報発信、来場者の満足度向上を戦略的に模索していくことが必要である。

・また、引き続き、大きな視点から考える取り組みを通じた理解促進の取り組みや、価値を活字ではなく直接語りかけることができるPR活動や解説付きの展示イベント等の幅を広げていくことが必要である。

・そうした中、自主事業として世界遺産を含むぐんま絹遺産を楽しく巡り理解を深めてもらうためのアプリを公開するとともに、HPへのアクセスを増加させる取り組みなど新たな情報発信による更なる普及啓発を進めていることから、ホームページアクセス数は増加した。

・世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」等の価値や魅力を総合的に紹介する展示及びボランティア団体による解説等を行う世界遺産センター整備に向けて様々な分析等をふまえた具体的な検討などを進めている。

#### 6. その他定量的な指標・効果

- 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成4資産への来場者数  
平成25年度 340,342人 → 平成29年度683,725人
- 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」ホームページアクセス数  
平成29年度 146,321件  
平成28年度 128,096件
- ぐんま絹遺産の認知度(群馬県 平成29年度県政県民意識アンケート結果)  
ぐんま絹遺産を聞いたことがある人 78.3%

## 7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙

具体的な指標 1 :	「富岡製糸場と絹産業遺産群」構成 4 資産及び世界遺産センターの来場者数					関連事業 :	①, ③, ④, ⑤, ⑥	
目標値 1 :	平成 28 年度 851,312 人 ⇒ 平成 33 年度 1,101,000 人							
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
683,725 人	人	人	人	人	人			
0%								
具体的な指標 2 :	「富岡製糸場と絹産業遺産群」ホームページビュー数					関連事業 :	①, ③, ④, ⑤, ⑥	
目標値 2 :	平成 28 年度 128,096 件 ⇒ 平成 33 年度 153,000 件							
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
146,321 件	件	件	件	件	件			
73%								
具体的な指標 3 :	構成資産全体の解説・普及を行う民間団体（富岡製糸場世界遺産伝道師協会）の年間活動日数					関連事業 :	②, ③, ④, ⑥	
目標値 3 :	平成 28 年度 220 回 ⇒ 平成 33 年度 270 回							
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
234 回	回	回	回	回	回			
28%								

## 7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙（関連事業）

事業①：	世界遺産センターVR映像制作	実施団体：	シルクカントリーぐんま連絡協議会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	群馬県が整備を進める「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産センター（仮称）で上映する「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産としての価値、構成4資産相互の連携やその価値の基礎となっている絹産業等を紹介するVRを活用したガイダンス映像を制作する。 映像制作にあたり、現状の現地保存の観点から各4資産の特徴となる部分を調査し、写真、動画を高精細CGで合成しデジタル化し、VR映像として活用する。					
具体的な指標：	「世界遺産センター」シアター利用者数					
目標値：	平成 28 年度		0 人	⇒	平成 33 年度	150,000 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
0 人	人	人	人	人	人	
0%						
事業②：	ガイド・解説員研修会	実施団体：	シルクカントリーぐんま連絡協議会			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	県内のガイド・解説員団体等の方を対象に、世界遺産構成4資産についての総合的な講習及び解説・ガイドの技能向上のための講習を実施し、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値を総合的に説明できるガイド・解説員を養成するとともに、そのレベルアップを図る。平成29年度に実施した研修をブラッシュアップし実施するとともに世界遺産センターで解説を行う解説員の育成も行う。					
具体的な指標：	構成資産全体の解説・普及を行う民間団体（富岡製糸場世界遺産伝道師協会）の年間活動日数					
目標値：	平成 27 年度		218 回	⇒	平成 33 年度	270 回
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
234 回	回	回	回	回	回	
31%						
事業③：	シルク博	実施団体：	シルクカントリーぐんま連絡協議会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	「富岡製糸場と絹産業遺産群」が影響を与えた県外地域や絹産業による地域活性化に取り組む地域との交流を通じて、県外地域および県内の方に「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値のさらなる普及を図るとともに、地域活性化の契機とする。なお、本事業は、明治150年関連として実施したい。 平成31年度が世界遺産登録5周年に当たるため、29年度、30年度は5周年に向けた序章とし、31年度に5周年記念として盛大に開催する。32年度、33年度はそれまでの事業の成果を検証し、さらにブラッシュアップして実施する。なお、32年度は、東京オリンピックと関連させることを検討する。					
具体的な指標：	「富岡製糸場と絹産業遺産群」構成4資産及び世界遺産センターの来場者数					
目標値：	平成 28 年度		851,312 人	⇒	平成 33 年度	1,101,000 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
683,725 人	人	人	人	人	人	
0%						

